

四つのテスト 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

クラブ会報特別号

◆会長挨拶 嶽本幸次会長



皆様、こんにちは。如何お過ごしでしょうか？先ずはコロナの為、8月17日から例会を休会していることに尽きまして、大変申し訳なく思っています。この場をお借りしましてお詫び申し上げます。誠に申し訳ござ

いませんでした。また、休会になって様々なプログラムが変更になっておりますのでご注意ください。この会報でプログラム変更の詳細を記載しています。ご確認のほど宜しくお願いします。この際なので、休会を決断した経緯をお話しておきたいと思えます。7月の後半から長崎でもコロナが増え始めてきて、クラブ協議会のリハーサルやガバナー公式訪問が出来るかなと一人で考えていました。しかしロータリーの中でも、重要な行事なので何とかやり終えたいと思っておりましたが、8月15日に田中会員から子供を介してコロナにかかったと連絡が有りまして、やむなく休会とさせていただきます。そして田中会員からは、コロナにかかると本当に身体がきつく大変なので、会員の皆さんにはくれぐれも注意して欲しいとアドバイスを貰っております。これからもコロナは無くならないと言われておりますので、皆さん注意願います。実は自分は6月中旬に2回目のワクチン接種を終えています。2回目のワクチンを打ったときには、これでコロナにかからず夜の飲み会も堂々として行って、旅行や買い物も遠くに行けるようになる。もしかするとマスクもしなくて良いのでは？と夢を見ていました。ですが現実には、ほど遠いもので ワクチンを接種する前後で行動が変わることは有りません。いま主流のデルタ株は感染力が強くて本当にワクチンが効くのか分からないみたいですし、自分がコロナにかからなくてもコロナを運んで誰かに移す可能性もあるかもしれません。みなさん良識あるロータリアンなので分かっていると思いますが、十分気を付けてください。以上で会長挨拶を終わります。

◆米山奨学生奨学金支給並びに近況報告



丁 宇欣(テイウキン)さん
子供時からたくさんの旅行に参加してきましたが、一番特別なのは、今年米山奨学生、ロータリーの皆さんと一緒に五島市に行ったことです。世界各国の友達と行ったことのない五島市に行くのでとても楽しみでした。船で五島市

に到着後、街を眺めながらホテルまで歩いて行きました。ホテルの近くは福江城の古跡です。五島市の最初イメージは自然の風景が美しく、静かで、歴史的な都市でした。一日目は福江ロータリーのメンバーと一緒に夕食を食べました。交流を通じてお互いをよく知りました。五島市についても紹介してくれました。五島列島は、遣唐使の寄港地で、東西文化の重要な中継点でもあったことから、遣唐使の時代に、五島列島に伝わったと言われております。日本三大うどんの一つと称される「五島うどん」も食べられました。二日目、地元ガイドの案内のもとに、私たちは多くの観光地を見学しました。また、海辺に立って向かい側の黒島を眺めていました。ガイドの紹介によると、この島には71歳のおばあさんが一人で住んでいます。生活面ではとても不便と思えます。ますます多くの人が大都市に行った中で、おばあさんはずっとこの島で生活しています。これが五島の魅力だと思います。今回の旅行は皆さんももっと交流する機会を与えてくれました。将来は世界平和交流に貢献することを期待しています。

◆マリア園毛布クリーニング奉仕

9月16日(木)社会奉仕委員会の継続事業である「マリア園毛布クリーニング奉仕」が、今年度はコロナ禍の中での活動となり、参加者も委員会関係者のみで行うこととなりました。当日は天気も良く、午前の搬出、午後からの搬入と、滞りなく奉仕活動ができました。また、三宅会員のご厚意に感謝いたします。



◆期首会員数	36名	◆入会者	1名	◆退会者	0名	◆現在	37名
◆8/3例会出席	25名	◆免除者出席	8名	◆欠席	12名	◆出席率	73.53%

RI第2740地区

第9グループ

張本民雄

ガバナー補佐

クラブの現況、
活動計画書及び活動報告書

講評



長崎西ロータリークラブの皆様、はじめまして、今年度、RI 第2740 地区第9 グループガバナー補佐を拝命致しました、福江ロータリークラブの張本民雄と申します。最初のご挨拶が、このような形になるのはとても残念ですが、後日、改めてご訪問しご挨拶をさせていただきますので、お許し下さい。まず始めに、ロータリー奉仕デーへのご参加のお申し込み、有り難うございます。コロナ禍で9月12日は実行出来なくなりましたが、後日地区ガバナー事務所より新たな計画案が出されると思いますので、その時はご協力をお願い致します。次に、細則改正日が「2021年7月27日」となっていて、定期的に見直しをされていることに共感致しました。変更するところが無くても、定期的に見直すことはとても大切なことなので、これからも続けていって欲しいと思います。そして、クラブ創立37年目で、チャーターメンバーの島田靖彦さんがお一人残っていらっしゃるのとはとても有り難いことです。又、島田さんが入会以来の連続無欠席36年を続けていることも、驚愕に値します。連続出席を成すには、仕事の調整・健康、そして何よりもロータリー愛が無いと出来ません。率先して実践出来る良い先輩ロータリアンがいるからこそ、後輩ロータリアンの方々も、連続無欠席を続けている方が多いと思います。そして、合理化や経費削減に積極的に取り組み、必要な事には惜しみなく使い、無駄を無くす努力が、活動計画書及び報告書に随所に見られ、とても感心しました。そして、コロナ禍でなければ、親睦を深めるための委員会活動計画が沢山あって、とても楽しそうで素晴らしいと思いました。そして、地区からのお願いであります、ロータリー奉仕デーへの参加、

会員増強の目標数、ロータリー財団・ポリオプラス・米山記念奨学会への寄附目標、戦略計画委員会の設置等、全てに対して目標を設定いただき感謝致します、有り難うございます。最後に、ロータリーを学ぶには、ロータリークラブに入会しないと出来ません。それは、書物を読むだけでは理解できないしそして、人から学ばなければ解らない、心の部分があるからです。「入りて学び出でて奉仕せよ」は例会への出席の重要性を説いています。ロータリーで学ぶことは、「職業奉仕」だけではありませんが、職業奉仕がロータリーの一番のネックだと私は考えます。それは、自分のお店・会社・事業を成功に導く方法を教えてくれているからです。それには、例会に出席して先輩ロータリアンから学ばないといけません。先輩ロータリアンは、後輩ロータリアンを育てなければいけません。そのためにも、例会への出席は大事です。今年度のガバナーも、どのような形でもいいから、例会への出席が出来るように！と言われています。コロナ禍で例会が出来ない・・・一年目はそれでも仕方が無いと思います。しかし、コロナは無くならない・・・With コロナ・・・コロナに負けずに次の一手・・・それが、バーチャルであり、ハイブリッド等を利用した、新しい形の例会方式だと思います。例会場まで来られない方には、そのような形での参加も有りだと思います。高い会費を納めて、例会に出席しないのはもったいないことです。又、そこまでしてでも、例会に出席したいと思われるような例会を開催することも大事です。理想論ではありますが、「お互いに学び合える場」を創ることが出来れば本当に素晴らしいロータリークラブになると思います。以上、簡単ですが、私の講評とさせていただきます。

◆10月・11月のプログラム変更

10/5(火)休会⇒通常例会

10/19(火)フォーラム⇒観月例会(夜・京華園)

11/2(火)休会⇒職場訪問例会(出島メッセ長崎)



ニコニコ箱	目標 1,200,000円	8/3	30,000円	累計	127,000円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	8/3	10,000円	累計	33,000円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	8/3	20,000円	累計	52,000円

◆会長 嶽本幸次 幹事 柳 龍一郎 ◆創立：昭和 59 年 10 月 2 日 ◆事務局住所：長崎市東古川町 4 - 16 フジビル 202
◆事務局連絡先：Tel:095-828-1091 Fax:095-824-5520 ◆e-mail:nwrc2740@ngs2.cncm.ne.jp
◆例会：【火】午後 1 2 時 3 0 分 ◆例会場：ホテルニュー長崎 Tel:095-826 -8000
◆作成：公共イメージ Pプロジェクト委員会/クラブ会報委員会 ◆委員長：北口功幸 ◆編集：事務局 中田久美子